

Fazleen Karlan
#sgbyecentennial, 2019

アーティスト **Fazleen Karlan** は、アートと考古学的手法を相互に取り入れた作品を生み出しています。彼女は、さまざまな時代の資材を集め、再び組み立てることで、歴史の断片を現在にもたらし、個人的、文化的な現実を作り上げます。

こちらの 3 つのテーブルには、土に埋もれた物体が展示されています。モバイルデバイス用の充電ケーブル、コンパクトディスクなど、あなたはこれの中にいくつか見覚えがあるかもしれません。この作品は、未来からの視点で、いずれ考古学によって現在の物が発掘されることを想像しながら、私たちの日常生活でみつける物や小さな歴史を見ているのです。

これらの物体は土で覆われているだけではなく、時の重なりでもあります。Fazleen は私たちに現在のレンズを通して未来を見てもらいたいと思っています。この作品は考古学の工程を解き明かして、私たちがじっくりと考え込む間、現在がゆっくり過去に後退していく、そのような不確定な時の流れを探っているのです。

#sgbyecentennial は 2019 年のシンガポールの 200 周年記念祝賀から着想されました。私たちの歴史における植民地時代が残したもののから離れ、そして 200 年の記念祝賀を越えようとしています。